

東洋療法いいわて

会報第 53 号

令和 3 年 5 月 1 日発行

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会

巻 頭 言

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会
会長 佐々木 実

コロナで始まった令和2年度も間もなく終わろうとしています。2月からワクチン接種が始まりましたが、コロナ終息はまだまだ先のようです。

一昨年中国で始まったコロナウイルス covid19 は、世界に蔓延し、社会・経済・スポーツなどあらゆる分野において影響を及ぼしました。当会でも勿論のこと、コロナに振り回された1年となりました。消毒用アルコールやマスクの調達には、(株)カナケンや顧問の神奈川県議の口添えにより医療政策室からマスクを寄贈してもらうなど多くの皆様に助けをいただきました。心から感謝申し上げます。

年間行事では、10月に延期した定時総会が出来ただけで、研修会など集まっての行事は全て中止となりました。が、代わってオンライン方式というやり方が広がり、執行部会議、理事会、新年会なども、Zoomアプリを使って行いました。

コロナは新年度になってもまだ続きます。オンラインを含め、会の運営や事業を工夫しながらやっていかなければなりません。今後とも皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

さて、そんな中、嬉しい話題もありました。一関支部の千葉謙一さんが「社会福祉貢献事業功労岩手県知事表彰」を受けられたことです。千葉さんは当会の理事や監事を長く務められ、私たちを導いて来られました。受賞を心よりお祝い申し上げますと共に、今後のご活躍を祈念いたします。

令和2年度はほとんどの活動が出来なかったため、報告の意味を兼ねるこの会報も例年よりずっと少ない分量となりました。「こんな年もあったなあ」という活動の記録として、お手元においていただければと思います。

先日のオンライン理事会でも話し合われたのですが、今年度の教訓を生かし、オンラインなどを駆使しながら新年度はコロナと上手く付き合い、行事をこなして参りたいと考えております。コロナ感染に留意し、「今日より明日は良くなる」の精神で皆さん頑張って参りましょう！

目 次

巻頭言	会長 佐々木 実	…	2
令和2年度活動報告			
総務部報告	総務部長 古館 吉弘	…	4
第79回定時総会議事録	井口 力	…	5
会長会務報告			
全鍼全国師会長会議報告	会長 佐々木実	…	6
東鍼連師会長会議報告	会長 佐々木実	…	8
東鍼連代議員総会報告	佐藤 明	…	9
保険部報告	保険部長 井口 力	…	10
学術部報告	学術部長 佐藤 明	…	10
健康づくり委員会報告	委員長 古水 健吾	…	11
令和2年度各支部活動報告			
盛岡支部	支部長 佐藤 明	…	11
奥州支部	支部長 千田 節雄	…	12
大船渡支部	支部長 古水 健吾	…	12
編集後記	広報部長 松下 優子	…	13
奥付			

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 令和2年度活動報告

総務部報告 庶務日誌

総務部長 古舘 吉弘

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、予定されていた会議、行事が延期や中止となりました。

- 4月13日 盛岡医療福祉スポーツ専門学校鍼灸学科入学式 中止
 - 4月19日 第1回監査会並びに第1回執行部会議 執行部会議は中止となったが、監査については書面により行われた
 - 4月27日 法人県民税、法人市民税納入
 - 5月10日 第1回理事会、定時総会 10月18日に延期
 - 5月11日 新型コロナに対する緊急経済ズームミーティングに佐々木会長参加
 - 5月24日、25日 全鍼代議員総会、全鍼連盟会議、協同組合総代会（いずれも書面による会議）に佐々木会長書面にて解答
 - 7月5日・6日 東鍼連山形大会 来年度に延期
 - 7月26日 第2回執行部会議 9月に延期
 - 8月2日 県民公開セミナー 中止
 - 9月6日 執行部会議（オンライン）
 - 9月27・28日 東洋療法推進大会 in 徳島 ユーチューブにて開催
 - 10月11日 第1回臨時理事会と第79回定時総会開催 アイーナ
 - 10月22日 法務局に役員変更登記を提出し受理される
 - 10月30日 元監事の一関支部の千葉謙一氏が、社会福祉功労者として県知事表彰受賞
 - 11月8日 東鍼連師会長会議（オンライン）に佐々木会長出席
 - 11月10日 東鍼連保険部長会議（オンライン）に井口力保険部長と佐々木会長出席
 - 11月15日 全鍼師会都道府県師会長会議（ハイブリット方式）に佐々木会長出席（オンライン）
 - 11月22日 東鍼連代議員会（オンライン）に佐々木会長（理事）と佐藤明副会長（代議員）出席
- 令和3年1月10日 第3回執行部会議と新年会（オンライン）
- 1月25日 盛岡市と「生活保護法による医療扶助の施術（鍼、灸、あん摩・マッサージ）に関する全部変更協定書」を交わす
 - 2月1日 「労災保険あん摩マッサージ指圧師、鍼師、及び灸師施術料金算定基準協定書」を岩手労働基準局との間で交わす
 - 2月7日 視覚障害者団体連絡協議会会議中止
 - 2月27日 東鍼連山形大会開催検討会（Zoom）に佐々木会長参加
 - 2月28日 岩手県と「生活保護法による医療扶助及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律

による医療支援給付の施術（あん摩・マッサージ、鍼、灸）に関する変更協定書」を交わす

3月17日 盛岡医療福祉専門学校卒業式に佐々木会長出席（盛岡アートホテル）

3月21日 第3回理事会（オンライン）

なお、今年度の県師会情報メール版は3月25日現在、128回となっております。

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 令和2年度第79回定時総会議事録

日時 令和2年10月11日（日）10:00～11:15

場所 アイーナ（盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号）

TEL 019-606-1717

記録人 井口 力

開会に先立ち、古舘吉弘総務部長から会員数105名中34名の出席、委任状47名、欠席24名があり、定款第17条を満たしており定時総会が成立することが告げられた。

佐藤明副会長の開会の言葉、佐々木実会長が「新型コロナウイルス拡大予防緊急事態宣言のため5月に予定していた総会が出来ず、本日になった」との挨拶があり、議事に入った。

議長と議事録人、議事録署名人は執行部一任を受け、出席理事より議長に古水健吾氏、議事録記録人に井口力氏、議事録署名人には佐々木きみ子氏と佐藤茂氏が選任された。

議事

第1号議案 会長会務報告（佐々木実会長）

- ・コロナ関連で業界のほとんどの行事や活動は中止、延期になっている。オンライン会議や研修会が一部実施されている。
- ・マスクや消毒液が不足していたが、神崎顧問の働きかけで岩手県からの援助があった。
- ・盛岡医療福祉専門学校が盛岡医療福祉スポーツ専門学校と校名が変更となった。
- ・6月に全国訪問マッサージ大手のフレアスとレイスとが合併した。
- ・免許保有証の更新が26名あった（初回申込者の半分以上）。更新数が少ないのは、更新手続きの煩雑さや、メリットをあまり感じないからではないかと分析している。
- ・その他、持続化給付金などコロナ関連による各種補助金の説明があった。

第2号議案 令和元年度各部事業報告とその承認

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、健康づくり委員会、無免許対策委員会より順次報告があり、全会一致で承認された。（別紙資料参照）

第3号議案 令和元年度財務部決算報告及び監査報告とその承認

財務部長より平成31年4月1日から令和2年3月31日までの報告があり（別紙資料）、続いて監事から帳簿や領収書綴り等にも誤りがないことを認めるとの報告があった。

第3号議案は全会一致で承認された。

第4号議案 県師会創立80周年記念事業開催についてとその承認

会長より、来年の5月に開催予定だったが、コロナのため1年延期としたいとの説明があり（飲食が不可と思われるため）全員一致で承認された。

第5号議案 令和2年度各部事業計画とその報告

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、健康づくり委員会、無免許対策委員会より順次報告があった。（別紙資料参照）コロナの影響により中止や延期多数。

第6号議案 令和2年度財務部予算とその報告

財務部長より令和2年度の予算書（収入、支出）の説明と来期の会費の減額（3,000円）の説明があった。

第7号議案 役員改選について

- ・初めに選挙管理委員の伊勢澤氏が退会したことから、大澤睦子氏を補充するという説明があり、満場一致で承認された。
- ・村上直人選挙管理委員長より、理事、監事とも定款に定めのある定足数以内であるため（理事立候補者15、監事立候補者2）、信任投票を行う。当選は過半数以上との説明があり、投票に入った。

（結果）袖林氏は落選。その他14名は当選となり、当選者全員が理事就任を承諾した。

- ・監事は朝橋正美、菊地弘両名が当選となり、当選者は監事就任を承諾した。

第8号議案 その他

臨時理事会の結果の報告があり、新会長には佐々木実氏が再任されたことが報告された。その後、佐々木会長より業務執行理事と顧問が発表された。

業務執行理事：佐藤明（筆頭副会長兼学術部長）、古舘吉弘（副会長兼総務部長）、山本英典（副会長兼財務部長）、井口力（保険部長）、清水寛平（庶務部長）、佐藤茂（組織強化部長）、松下優子（広報部長）、舘下正則（事業部長）

顧問 神崎浩之 県議

- ・質問（高橋久喜）無免許者が横行している。取り締まるように国に働きかけてほしい。
解答（会長）35年判決を覆すべく準備していたが、19条裁判が出てそちらにかかり切りとなっている。裁判も先が見えて来たので、日視連、日摩会、全鍼が力を合わせて国に無免許問題を働きかけるように全国会議等で発言していきたい。

会長会務報告

全鍼全国師会長会議報告

会長 佐々木 実

会議は11月15日（日）午前11時から午後4時20分まで東京の会場とZoomとをつないで行われました。会場には役員と10名ほどの各県師会長が参加。残りは、私を含めて31名ほどの師会長がZoom参加でした。

議題は、各委員会報告と各県提出議題でした。下に主なものを記します。

（保険部）

- ・12月から療養費料金改定。徒手矯正がマッサージ加算となる。よって、施術報告書、申

請書、同意書の一部の様式が変わる。厚労省より発出され次第お知らせする。

- ・長期（1年以上）・頻回（月16回以上）については保険者の判断で償還払いに戻すことが可能となった。（他の施術所との合算でも同じこと）
- ・マイナンバーカードが保険証の代りとなる。年明けから実施する保険者もあると聞いている。申請書に記入事項の確認に関しては、マイナンバーを読み取るアプリをこれから厚労省が開発すること。読み取って暗証番号を本人に打ってもらうという方向。現実的ではないので、この方法については流動的。勿論、これまで通り保険証も使える。

（介護予防）

- ・コロナ禍での介護予防という研修会を来年3月13日に行う予定。オンラインにするかどうかは、コロナの状況を見て。

（災害対策）

- ・日本災害学会の研修会を来年3月13日～15日に行う。オンライン参加も可能（詳しくは後ほど知らせる）。

（総務）

- ・会員の減少が止まらない。これはPTや看護師組合など多くの団体の悩み。会員数は8千人を割った。会員増強について理事会で話し合うことにしている。
- ・免許保有証の更新率は31パーセントにとどまった。手続きの簡略化など試験財団に求めていく。

（ソフトバンク）

- ・患者と施術者とのマッチングアプリを1年くらいかけて作りたい。対象は一般の人たちと国家資格免許を持った人たち。症状を打ち込むと近くの登録治療院が紹介される仕組み。皆さんの意見を聞いて進めていきたい。

（セイリン）

- ・患者と施術者とをつなぐソフトを作った。施術者HPに患者も書き込めるし、施術者も患者のその後を尋ねられるような仕組み。詳しくはセイリンのホームページを見てほしい。

（東洋療法推進大会）

- ・集まったの東洋療法推進大会 in 徳島は中止となったが、WEB上で行っている。全鍼HP中でその内容が見られるようになっている。人気の井上正康先生の講演も近くアップする予定。3月いっぱい載せているので見てほしい。見た人には研修試験財団の単位8が付与される。申請用紙は全鍼にあるので請求してほしい。
- ・来年度の第20回大会は大阪で10月17日～18日（日～月）に行う。場所は天王寺駅直結のホテル。法人化40周年記念式典を兼ねて行う。

（各県提出議題の要点）

- ・マイナンバーカードに医師免許を入れるという構想もある。そうなれば、「あはき」もそうなるかもしれない（10年先くらいを目途に）。
- ・全鍼ではオンライン、オンデマンドの研修会を今後も盛んにしていきたい。各県のものも紹介してもらえば、他県からも参加可能となる。進めてほしい。
- ・業団の一本化を望む声があるが、研修会の合同開催等出来ることから始めていきたい。

- ・保険取り扱いが視覚障害者にも出来るように、手続きの簡略化を働きかけてほしいという件については、やってみるが難しい部分もある。各県で代筆サービスを立ち上げてはどうか？ 大阪、埼玉は、協同組合で行っている。会員に対しての代筆だが、大阪は手数料1パーセント、埼玉は10パーセント。

(これは岩手でも5パーセントの手数料で私と井口さんで行うことにした経緯がありましたが、使う人がいないので、今はたち消えとなっています)

以上ですが、初めての会場とオンラインとのコラボ会議でしたので、音声聞き取りにくかったり、割れたり、ハウリングを起こしたりと、自宅で出来て気楽な割には神経を使う会議でした。集まって行うより発言も少なかったです。早くコロナが終息して、集まって会議が出来ることを願いながら Zoom 会議退出ボタンをクリックしました。

東鍼連師会長会議報告

会長 佐々木 実

11月8日(日)にオンラインで行われた東鍼連師会長会議について報告いたします。

会議は午後4時から5時10分まで行われ、青森県師会を除いて全員出席でした。簡単に決まった内容を記します。

- ・令和元年度の行事活動・決算報告、令和2年度の行事活動計画・予算案は、全会一致で承認。
- ・来年度の東鍼連山形大会と秋田交流会についてだが、東鍼連大会は2年連続で延期という訳にはいかないだろう。そこで、集まって行うことが無理であるなら、オンラインを利用して行う形を考える。コロナの状況に応じて、その二本立てで開催県には考えてもらう。

秋田交流会については、観光や交流が目的なので、オンラインでというのはなじまないかもしれない。コロナの状況を見て考えていく。

- ・東鍼連保険部のこれまでの活動内容からして、組織強化で行っている東鍼連交流会と共同開催としてはどうか。即ち、交流会の観光の部分は組織強化部が担当し、研修会の部分を保険部が担当企画する。そうすればそれぞれの部に出していた補助金3万円も節約出来る(実際は5万円程度とし、残りの1万円は費用がかさんでいる東鍼連大会の方に回す)。

この案を、保険部や組織強化部の意見を聞いた上で了解を得られたら、11月22日の代議員会で決定し、令和3年度から実施する。

- ・東鍼連大会の費用がかさんで開催県が苦慮していることから、学術補助金を8万5千円から11万円とする(会議費は5万円、印刷費は6万円とこれまでと同じ)。
- ・各県活動状況について

(岩手) コロナで行事は全て中止。4月に県の医療政策室と掛け合ってマスク3千枚を無償提供してもらい、エタノールも確実に入手出来るルートを教えてもらった。

(宮城) コロナで仕事が減っている。県に補助や補償を求める要望書を出している。

(秋田) 行事は全く出来ていない。仕事の打撃も大きい。

(山形) 会長が白田氏から原田氏に代わった。コロナによる営業低下への補助を柔整師会と一緒に県に求め、新聞にも取り上げられた。

(福島) オンラインなどを使って、研修単位 25 を何とか確保出来そうだ。これからもその方向で行っていきたい。

- ・今年度の各県負担金は、財務局長所在の山形県師会の口座に振り込んでもらう。
- ・11月22日の代議員会に、昨年理事会で通った「東鍼連会則改正案」を提出し承認を求める。

以上ですが、オンライン (Zoom 利用) でも結構突っ込んだ話し合いが出来ました。これからは会議にせよ、研修会にせよこういう形でというのが増えていくかもしれませんね。

令和 2 年度東鍼連代議員会報告

佐藤 明

今年 7 月に開催されるはずであった東鍼連山形大会学術大会は 1 年延期が決まり、同時開催されることになっていた代議員会がこのほど、11 月 22 日 (日) 午後 4 時～5 時 10 分まで Zoom アプリによるオンライン方式で実施されました。

出席者は、東北県師会各会長と代議員 2 名が出席しました。岩手県師会は佐々木実会長と代議員として佐藤明が出席しました。山形県師会からは東鍼連の事務局長、財務局長が出席し、秋田県師会は 1 名、青森県師会は欠席しました。また、東鍼連顧問 2 名を含む合計 13 名が出席しました。

オンラインのホストでもある本会の佐々木実東鍼連会長のあいさつがあり、司会進行には平栗辰也 (ひらぐりたつや) 福島県師会会長が指名され、参加者各自の自己紹介から始まり、議題の資料も事前に届いていたこともありスムーズに会議は進められました。

議題は次の通り承認されました。

1. 令和元年度行事活動報告
2. 令和元年度収支決算報告並びに監査報告
3. 令和 2 年度行事活動計画

佐々木実会長から補足として、岩手県の保険部長が井口力 (いぐちちから) 氏に交代したことが報告され、11 月 10 日に東鍼連保険部長会議がオンライン形式で開催され、東北の保険部長代表者に宮城県師会の千田栄 (ちださかえ) 氏が就任されたこと。令和 3 年度からも保険部独自の活動を継続したいこと。保険部長会議はオンラインで実施し、保険部講習会は各県の輪番開催とし、生涯研修会などと合同開催としたいこと。活動費も今まで通り組織強化部と別個の予算配分を希望すること、などの保険部長会議の報告がありました。

4. 令和 2 年度予算 (案)
5. 東鍼連会則改正

佐々木実会長から、活動の実情に則した文言を挿入するなどした会則改正案はすでに理事会では決定しており、代議員会で決定されれば、令和 3 年度より施行されることになることと説明がありました。

6. 令和 3 年度東鍼連山形大会と秋田交流会について

原田幸美（はらだゆきみ）山形県師会長より、来年開催の山形大会の進め方について説明があり、学術大会の研究発表や各部の会議についてもオンライン方式で実施したいと報告されました。

また、高橋和彦（たかはしかずひこ）秋田県師会長から、来年開催の秋田交流会の進め方について説明があり、やはりオンライン方式を検討中との報告がありました。

7. その他

宮城県師会代議員の堀田三千春（ほったみちはる）氏より意見が出されました。それは、第3回DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師育成講習会（オンライン）を受けてほしいというもの。

この件に関して、山田幹夫（やまだみきお）顧問からも補足があり、様々な災害に対して我々鍼灸師・マッサージ師が発災後どのような対応をしなければならないか、また、新型コロナウイルス感染拡大状況下で、感染予防をしながらどこまで支援活動ができるのかを学ぶ機会であることから、東鍼連会長と副会長は参加してはどうか、参加費も東鍼連から支出してはいかがかという意見があり、時間を割いて議論を重ねた結果、各県師会長1名が参加することとし、東鍼連会計の災害対策積立金より参加費を負担するという事に決まりました。

その他のふたつ目として、原田幸美山形県師会長より情報提供があり、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言以降に、特養老人施設や介護施設への立ち入り禁止の措置がなされた際に、県当局に申し入れを行った結果、医師の同意や許可があれば、該当施設等への立ち入りが認められることになったとの報告がありました。

以上、約1時間余りの会議は滞りなく終了し、それぞれリモート環境から退出しました。

保険部報告

保険部長 井口 力

コロナのため、活動はほとんどオンライン会議や電話などによる個別指導となりました。レセプトにおける押印廃止などの情報が入ってきて、新年度は、それらを含めた研修会が開ければと思っております。

学術部報告

学術部長 佐藤 明

令和2年度生涯研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、年度初めに予定していた生涯研修会計画をすべて中止したことを報告します。

1. 6月 7日 第1回生涯研修会
2. 7月5日～6日 東鍼連山形大会
3. 8月 2日 鍼灸マッサージ県民公開セミナー2020
4. 9月13日 健康保持のための研修会 講演と実技
5. 9月27日 一関国際ハーフマラソンスポーツマッサージワーク

6. 10月 日 東鍼連秋田交流会
7. 11月29日 東鍼連保険部研修会
8. 令和3年2月14日 第8回生涯研修会 あはき講座

従いまして、生涯研修修了認定証の申請者もありませんでした。

以上、報告とします。

健康づくり委員会報告

委員長 古水 健吾

令和2年度の健康づくり委員会活動報告は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、年度初めに予定していた次の活動計画をほとんど中止しましたが、年度末に行われた全鍼師会主催の地域健康づくり指導者研修会に2名がオンライン参加しました。

- ・6月7日 第26回勉強会と打合わせ会議
- ・8月2日 鍼灸マッサージ県民公開セミナー2020・健康づくり運動指導部門の担当
- ・健康づくり教室の開催
- ・健康づくり委員会会議（年度末の3月）
- ・全鍼師会主催地域健康づくり指導者研修会に2名がオンライン参加

※なお、事業部、組織強化部は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事業はできませんでした。

令和2年度各支部活動報告

盛岡支部

支部長 佐藤 明

今年の冬の厳しい寒さと降雪量は、去年の冬と2年分位多かったように思います。

2020年早々から、新型コロナウイルス感染症という大災害が発生し、昨年末にはその変異株も発見され、急拡大や「第四波」の予測など予断を許さない状況にあります。

さて、年度初め4月の支部定例総会はコロナ感染症拡大予防のため中止せざるを得なくなり、全支部会員に総会議案書案を郵送等で送付し、意見及び賛否を確認した結果、全員の賛成により総会は成立したとしました。その際、役員改選があり、副支部長に菊地弘氏が新任されたほか全役員が再任されました。

次に、盛岡市委託事業の健康づくりマッサージ等指導教室の運営も8月から実施されることになり、3密対策としてマッサージ施術を行わず講話と体操指導のみとなりましたが、年度末までに70回の教室を運営し高齢者の健康保持増進と介護予防に貢献できたのではないかと思います。

5年目となった支部情報メールを通じて、支部運営に関するお知らせを配信しながらコロナ対策の呼びかけも行うなど、会のまとまりを維持する役割を果たしてきました。

続いて活動日誌による報告を致します。

- 4月12日 第1回支部役員会開催
- 4月30日 令和2年度支部定例総会（書面開催）
- 6月27日 健康づくりマッサージ等指導教室第1回全体ミーティング開催
- 7月26日 第2回支部役員会開催
- 9月26日 健康づくり・マッサージ等指導教室第2回全体ミーティング開催
- 10月11日 岩手県師会第79回定時総会が開催され19名が出席し委任状は26名。
昨年度の生涯研修修了認定者7名に修了証が贈られた。
- 11月15日 第3回支部役員会（電子的方法）
- 12月12日 忘年会中止

令和3年2月6日 健康づくり・マッサージ等指導教室第3回全体ミーティング開催

3月7日 第4回支部役員会開催

次に、会員動向ですが、新入会会員は、4月に印牧享平（かねまききょうへい）さんと6月には古舘華子（ふるだてはなこ）（県師会のみ）さんが入会されました。皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

退会者は、長内義行（おさないよしゆき）さん、金田真人（かねだまこと）さん、戎ゆみ子（えびすゆみこ）さん、若生雅代（わこうまさよ）さん、大下福一（おおしたふくいち）さん、齊藤 仁（さいとうひとし）さん、藤沼敦子（ふじぬまあつこ）さんの7名が退会されました。また、清水寛平（しみずひろなり）さんは県師会のみ所属になりました。

新年度からは支部会員50名中、県師会のみ所属が4名となります。

齊藤さんは30年間、戎さんは26年間、大下さんは25年間、若生さんは21年間、長内さんは8年間、金田さんと藤沼さんは4年間在籍されました。それぞれにご貢献をいただきました。7名の方々のご功労に対して支部を代表して感謝を申し上げます。

末筆ながら、支部会員並びに県師会会員の皆様におかれましては、これまで努力しながら作り上げてきた業団の結束を信じ、コロナ後を見据えてもう一段階気持ちを引き締めて今年1年を過ごして参りましょう！

奥州支部

支部長 千田 節雄

奥州支部では、この1年間、コロナ感染拡大予防のため、活動は一切していません。運営は、役員間の電話連絡で行い、会員同士が顔を合わせる機会がなく、コミュニケーションの取りにくい1年間でした。

新会員紹介、菊地哲也さん35歳。平成28年3月、盛岡医療福祉専門学校卒業。奥州市水沢在住で、現在奥州市江刺のさくら鍼灸整骨院に勤務されています。

大船渡支部

支部長 古水 健吾

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画した活動を行うことができませんでした。

今年度も計画は、立ててみましたが、どのようになるか、、、。

早い収まりを願うところです。

一関支部

支部長 館下 正則

会員の皆さん、お変わりありませんでしょうか。今年は、スペイン風邪から100年余り、令和元年12月、中国の武漢から発生した新型コロナウイルスの驚異的な猛威を受けた一年でした。終息の兆しが見えない今日この頃です、

今年の会員動向は、昨年と同様変わりありませんでした。

活動報告

9月13日 臨時総会（福祉センター3階）会員8名 付き添い1名出席

10月30日 社会福祉貢献事業岩手県知事表彰（県民会館）

前岩手県師会監事 千葉謙一氏受賞

その他

県師会の総会、東鍼連大会、県民公開セミナーまた生涯研修会等への参加協力。

※その他、釜石・宮古支部、花北・遠野支部、二戸支部もコロナのため活動はありませんでした。

編集後記

広報部長 松下 優子

コロナ感染拡大の止まない2年目の春となりました。感染を予防しながらの生活は神経を使います。

そんな中、ワクチン接種も始まりつつあります。

早く、以前のような普通の暮らしに戻りたいですね。

.....

奥付

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会

令和3年度 会報 「東洋療法いわて」 第53号

令和3年5月1日発行

発行人

会長 佐々木 実

〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地

電話 0195-77-2057

編集責任

広報部長 松下 優子

〒020-0667 滝沢市鶉飼向新田7番地-227

電話 019-687-2405

事務所（事務局）会長 佐々木 実

〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地

電話 0195-77-2057

E-mail : ms2001@aioros.ocn.ne.jp

<http://iwateken-harikyumasikai.jimdofree.com/>

郵便振替

岩手県鍼灸マッサージ師会 02360-9-19833

印刷

副会長 佐藤 明

〒020-0117 盛岡市緑が丘3丁目14番地33号

電話 019-681-8620

KANAKEN

痛み・美肌・疲労回復に

Biomini II

— バイオミニ II —

バイオミニ II

KE-562 価格 138,000円+消費税

(クラスII/特種) 保証番号: 226AFBZ00071000

- 定格電圧: DC5V、単三乾電池4本、専用ACアダプタ UC8012000 (入力 AC100V)
- 定格消費電力: 0.3W
- 寸法: (高さ) 7.1mm × (幅) 223.5mm × (奥行) 124.6mm
- 重量: 290g
- 最大出力電流: 2mAms (1000Ω 負荷時)
- 定格出力電圧: 12.6Vpp (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数: 0.27~333Hz
- パルス幅: 1ms~1830ms
- 出力波形: パルス波
- 出力チャンネル数: 2チャンネル
- 治療時間: 15、20、25分
- 使用環境条件: 温度 10~40℃、湿度 31~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置: ゼロスタート方式、電源スイッチ、出力レベルDOWNスイッチ
- 適合規格: JIS T2023 2011

付属品 (別売品) 別売品
 ①充電端子 TRS-7000 ②ACアダプター(2脚1脚)
 ③オクトバースコード ④専用ACアダプター



4つのモードから選ぶ
簡単操作!!

マイクロカレント
微弱電流



モード こり

モード 痛み

モード 美肌 (再生)

モード 疲労 (リンパドレナージュ)

- ▶ 痛めた部位をメンテナンス。
- ▶ こりや痛みはお肌の大敵。

- ▶ 傷ついた身体の修復。
- ▶ しみ・しわ・たるみ・くすみ肌を改善。

- ▶ 疲れ切った身体を回復。
- ▶ 疲れた体は美容の大敵。

痛

みの治療に新しい提案
即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載



表層部位から深層部位まで刺激をコントロール。
新開発の「PDM波形」を搭載。

KANAKEN

低周波治療器

SARNOS

— サーンズ —

低周波治療器

SARNOS (サーノス)

KE-548 価格 850,000円+消費税

(クラスII/特種) 保証番号: 222ALBZ00038000

- 定格電圧: AC100V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130Vpp ± 20% (500Ω 負荷時)
- 最大出力電流: 70 ± 10mAms (500Ω 負荷時)
- 出力周波数: 1.26kHz ± 10% ~ 1.74kHz ± 10% 2.7kHz ± 10%
- 出力波形: A、B
- 出力チャンネル数: 6
- 安全装置: ゼロスタート方式・ストップスイッチ・電源ヒューズSA
- 本体の寸法: 幅 330mm × 奥行 351mm × 高さ 226mm
- 本体の重量: 約 5.2kg



【付属品】
 電源コード 1本
 アースコード 1本
 2P-3P変換プラグ 1個
 端子コード 異径線径 2本
 汎用性平端子 異径線径・異径線径
 マジックバンド 長さ3本・幅3本
 添付文書 1部
 取扱説明書 1部

ただいまデモンストレーションを実施中です。
お気軽にお問い合わせください。

総発売元 株式会社 **カナケン**
 本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
 TEL_045-901-5471代 FAX_045-902-9262
 E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL_06-6935-3016代 FAX_06-6935-3017
 新潟営業所: TEL_025-286-0521代 FAX_025-286-8870
 福島営業所: TEL_024-961-7211代 FAX_024-961-7221
 仙台出張所: TEL_022-287-6273代 FAX_022-287-6218